

## 「小学校適正配置についての説明会」概要

倉吉市教育委員会

倉吉市の重要課題である小学校適正配置について、今年度の取り組みである適正配置協議会設置の説明を行うことを目的として開催しました。

はじめに、小学校適正配置についての経緯と今後の取り組みについて説明し、次に開校して1年経った関金小学校の様子を藤山校長が報告をしました。

また、これまでのアンケート等で要望があった財政及び総合計画について担当部局より説明を行いました。



会場からは「根本的に何が大事かというところ、やはり将来を担う子どもたちをどう育成していくのかという部分だと思う」「財政問題の話があったが、一番知りたいのは5校が統合することによって市財政がどれだけ浮くのか」等の発言がありました。

また、参加者からのアンケートには、「誰もが出身校や校区に愛着はあるが、それを尊重しすぎると話は前に進んでいかない」といった意見がありました。

適正配置について、そうした様々な意見があるからこそ、それを擦り合わせ整理をして、課題を解決していかなければなりません。保護者や地域の方々の意見を聞きながら、未来に生きる子どもたちの教育を考えてまいります。

1 日 時 平成29年4月22日（土）午前10時00分～11時57分

2 場 所 倉吉未来中心 小ホール

3 参加者 市民 116人

4 概 要

(1) 開会あいさつ 福井 伸一郎 倉吉市教育委員会教育長

(2) 説明

①小学校適正配置について（経緯と今後の取り組み）

丸岡 恭樹 倉吉市教育委員会学校統合準備室長

②開校から1年～関金小学校の様子～

藤山 正明 倉吉市立関金小学校長

③倉吉市財政計画について

矢吹 房生 倉吉市総務部長

④“くらしよし”ふるさとビジョン 第11次倉吉市総合計画【後期基本計画】

美船 誠 企画振興部次長兼総合政策課長

(3) 意見・質疑 (○…質問・意見 →…回答)

【参加者】終着点をどこに置くのか見えてこない。統合することが目的なのか、それとも統合しないという選択肢もあるのか。

→ 計画案は絶対ではない。十分な話し合いをしながら課題解決に向けて取り組む必要がある。

【参加者】この適性配置と、財政計画及びふるさとビジョンとの関連性は何か。

→ これまでのアンケートやメール等で財政面はどうか説明してほしいという要望があった。ふるさとビジョンについては、財政計画に関わるが、今後の倉吉市の人口推計や状況を知っていただく必要がある。これまで倉吉市がこの適正化において財政論ではなく、子どもたちの今後の教育や学習の中でどう進めていくかを重要視して取り組んでいるが、その考えは今も変わっていない。

【参加者】成徳小学校は、なぜ統廃合がある中で新校舎を建設したのか。また統合後に、市役所ともなれば、本質と建前が違う。

→ 耐震化の取り組みについては、今後地震が起きる可能性がある中で、耐震性のない学校を最優先にして耐震化を進めていった。成徳小学校の旧校舎は構造的にも耐震性が難しいため、新校舎建設となった。子どもたちや地域の方々の安心・安全を優先に市内小中学校を50億円使って耐震化を行った。今後については、地域の考えがあると思うので、適正配置協議会の方でいろいろな意見を出しながら、地域の課題も含めて協議してほしい。

【参加者】この適正配置については、保護者・子どもたち・地域が納得したところから統合すべきで、強引に市で統一して全部統合しようとする考えを捨ててほしい。

→ そのことも踏まえて地区説明会だけでなく、地域の方の話し合いの場にも必要に応じて参加したり協議会の場にも参加し、地域の皆さんの意見をしっかりと擦り合わせていきたい。

(4) アンケートの意見より

【保護者】

- ・成徳小から明倫小へ行く場合、子ども達の安全な通学路の確保を行政が考えてほしい。
- ・変わらないことは楽。変わらないと衰退していく。子どもたちはこれからの時代の変化に対応していく力が必要である。
- ・現場にいる子どもや親は、最善の方法で労力を惜しまず、スポーツや勉強も出来るようにお願いしたい。
- ・児童数や財政の課題は無視出来ないが、それより「行きたい学校」「行かせたい学校」をどう創っていくかという視点が必要ではないか。

- ・立場や年齢により関心の差を感じた。(P T Aと地域の方との差)  
財政や人口についての話で更に関心が高まり、関金小学校の話も参考になった。
- ・統合してみて良かった関金小学校に続いて、順次準備をしていって統合すれば良いのではないか。
- ・倉吉市の財政内容はよく理解出来ましたが、その財政の中から学校に関わる予算を聞きたかった。
- ・倉吉市の財政と学校統合は進めるべきであると思うが、地域性も考えてほしい。
- ・人口減に対する対策が最重要だと思う。企業誘致など。

### 【地域住民】

- ・学校統合を進めれば、倉吉市の人口減少は加速するので中止すべき。
- ・これだけ説明しても地区の反対が多い所は提案(計画)そのものを取りやめるべき。
- ・地域の学校として長い年月意識してきた存在が消えて、他地区に吸収されるという感じは残る。新たな学校が出来るという過程があったら統合がより受け入れ易かった。
- ・倉吉の中心である成徳小学校にすべきで、明倫校舎は上級生利用とすれば良いと思う。
- ・今後の人口減少や財政面のことも考えると統合もやむを得ないと思うが、これまでの学校で良かったことは引継ぎ、変えていくべきところは変革のチャンスにしていきたい。
- ・学童一人あたりにかかっているトータルコストの推移が見てみたい。
- ・今回は、かねてより要望のあった「市財政計画」「総合計画」について説明があつてよかった。ただし、説明の時間が多くて適正配置についての意見交換が少なく、その点での深度が浅かったのは残念。とにかくスピード感がほしい。
- ・この計画が進んでいないことに驚いている。どうすべきか早くしないと、どんどん人も財政問題も難しくなってくる。倉吉市民100%が納得のいくことではないので、様々な案がある中でベストな解答を選択すべき。誰もが、出身校や地区に愛着はあるので、今まで通りで良いという意見は必ずあるが、それを尊重しすぎると前には進めない。
- ・地域の活性化と小学校とは、別問題であることの共通認識が必要ではないか。
- ・統合してほしいという保護者の意見を大切にもらえる地域でもあってほしい。学校でつけられない力を地域でつけれるように考えてほしい。いきいきプランを拡充し、遠方の子も参加出来る方法を考えるなど。
- ・統合した関金小学校の校長先生の話はとても良かった。最後に話された子どもたちのたくましい力、生き抜く力、共に生きる力をつけることが大切だと思う。

### 【その他】

- ・吸収合併になるとか、歴史ある名前がなくなるとか、地域エゴが強い。子どもたちにとって何が大切だろうか。統合出来るところから順次、実施したら良い。